

第54期

2008.4.1~2009.3.31

山一電機株式会社



株主のみなさまへ



経営理念

山一電機グループは、新しい価値の創造に革新的に取り組み、エレクトロニクス産業において、すぐれた品質のトータルパッケージサービスを提供することを通じて、お客様の価値創出に貢献します。

1 人の尊重

人を育て、人を活かし、会社の発展と個人の幸せの共有を目指します。

2 企業価値の最大化

株主をはじめとしたステークホルダーの要請に応え、適正利潤を追求し、企業価値の最大化を目指します。

3 企業品質の向上

信頼の最大の基盤である優れた製品品質と企業品質を提供することによって、顧客の満足を図ります。

4 技術立社への挑戦

開発型企業として、たゆまず技術の創造と革新に挑戦し、半歩先をゆく技術を提供します。

5 社会的役割の達成

常に社会との調和を図り、社会から信頼される企業であり続けます。

Contents

経営理念	1
ごあいさつ	2
当期の概況	3
部門別概況/連結	5
トピックス	7
連結財務諸表（要約）	9
単体財務諸表（要約）	11
会社の概要	12
株式の状況	13

株主の皆様には、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。平素は格別のご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

当社グループは、「人の尊重」、「企業価値の最大化」、「企業品質の向上」、「技術立社への挑戦」および「社会的役割の達成」という経営理念のもと、人・企業・社会・地球とのより良い結びつきを柔軟な技術力と発想力をもって意欲的に創造する「もっとしなやかにベターコネクション」をコーポレートスローガンに、お客様の価値創出に貢献してまいります。

平成21年度から平成23年度の経営方針

① 共感できる事業体へ

方針・目標を共有化し、連鎖し、一丸となって目標に突き進む集団になる。成功・失敗を共感し、次のステップへ進む。

② 利益体質へ

全社員が、ビジネスの創造に向かう。原価低減・固定費削減を徹底追求する。

③ 個々の出力を強化する

社員各人の能力・出力強化が最大の競争力の源泉。個々の出力強化に向けて制度整備・教育充実を実施する。

④ CSR経営を実現する

お客様、従業員、株主をはじめとするステークホルダーに継続的に貢献する企業となる。

株主の皆様におかれましては今後ともますますのご支援とご鞭撻を賜りますよう心からお願い申し上げます。

山一電機株式会社
代表取締役社長
織田 俊司



当期の概況

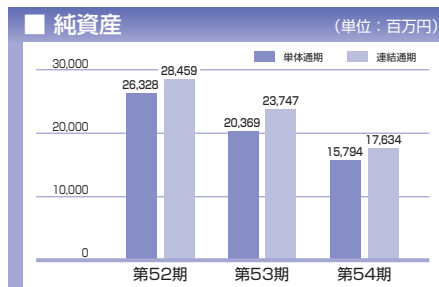
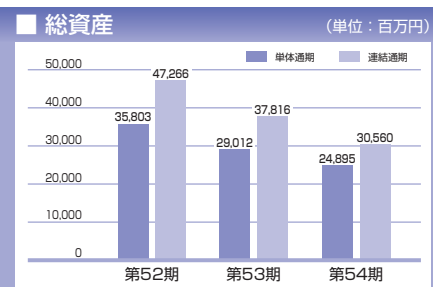
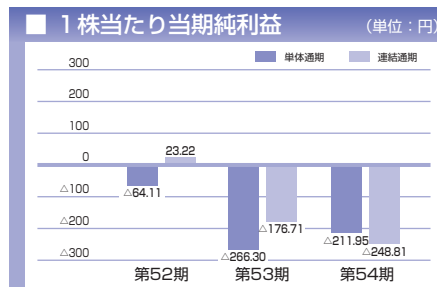
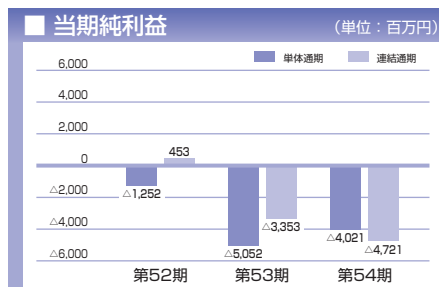
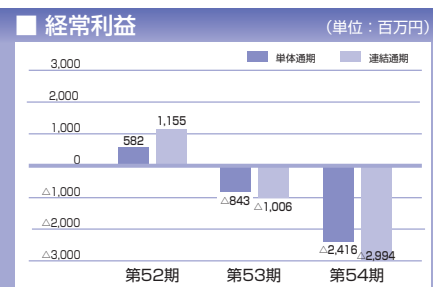
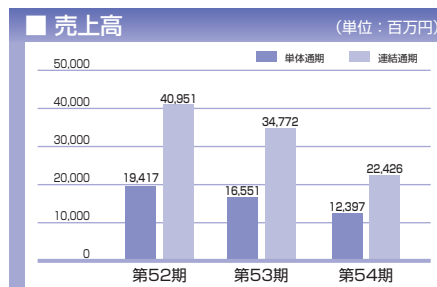
当連結会計年度における経済状況は、米国金融市場の混乱が世界各国の実体経済に波及したことによる国内外の急激な需要縮小により企業収益は落ち込み、設備投資も減少するなど第3四半期以降著しく悪化し、特に第4四半期に入りその様相は一層顕著となりました。

当社グループが関連する電子部品業界においても、携帯電話やパソコンおよびデジタルAV機器向け需要は最終製品の在庫や生産調整の影響により第3四半期以降急激な落ち込みとなり、加えて平成19年度から低迷が続く半導体設備投資においても投資の縮小や凍結がさらに拡大するなど、一層厳しい市場環境となりました。

このような状況のもとで、当社グループは太陽光発電システム市場などの成長市場に注力し、新製品の積極的な投入など売上の確保に努める一方、これまで進めてきた海外生産移管および内製化によるコストダウン推進などの諸措

策を実行してまいりました。さらに大幅な減収に対応した生産体制の改善、役員報酬および管理職給与の減額や希望退職募集による人員の最適化など総費用抑制による収益確保に努めてまいりました。しかしながら、受注および売上の急激な落ち込みに対して変動費および固定費の削減が追いつかず、収益面での改善を図ることは厳しい事業環境となりました。

この結果、当連結会計年度の売上高は、22,426百万円（前年同期比35.5%減）と大幅な減収となりました。損益面では、営業損失2,891百万円（前年同期は営業損失448百万円）、経常損失2,994百万円（前年同期は経常損失1,006百万円）を計上することとなりました。また、特別損失として、たな卸資産の評価損146百万円、保有株式の評価損185百万円、希望退職募集による特別加算退職金335百万円、固定資産の減損損失879百万円などの計上



により、当期純損失4,721百万円（前年同期は当期純損失3,353百万円）となりました。

次期の当社グループを取り巻く経営環境は、米国金融市場の混乱が世界各国の実体経済に波及したことによる国内外の需要減少等により企業収益の悪化、設備投資の減少など世界的な景気後退が鮮明となり、その回復には相当の時間を要するものと予想されます。

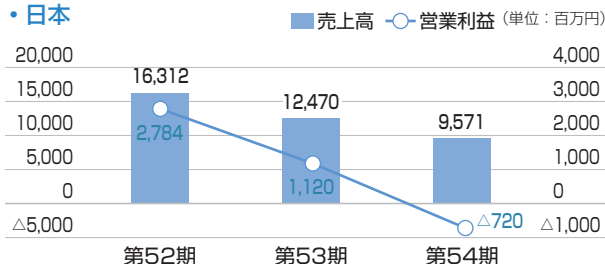
このような環境下において当社グループは、今後成長が見込まれる太陽光発電システム市場やネットワーク市場およびカーエレクトロニクス市場などの成長分野に新製品の積極的な投入を図り売上の確保に努めてまいりますが、半導体関連市場やデジタルAV機器市場向け主力製品の需要が大きく反転しないとの前提に立ち、徹底した変動費および固定費の削減などによる競争力強化の諸施策を講じ、業績回復を目指す所存であります。

以上のことから次期の業績予想といたしましては、連結売上高22,410百万円（前年同期比0.1%減）、連結営業損失900百万円（前年同期は営業損失2,891百万円）、連結経常損失1,200百万円（前年同期は経常損失2,994百万円）、連結当期純損失1,640百万円（前年同期は当期純損失4,721百万円）を見込んでおります。

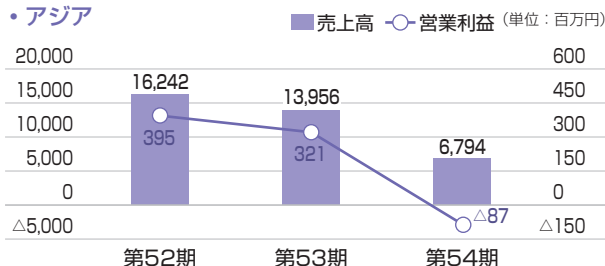
また、当社個別では売上高12,490百万円（前年同期比0.7%増）、営業損失1,180百万円（前年同期は営業損失2,467百万円）、経常損失1,450百万円（前年同期は経常損失2,416百万円）、当期純損失1,780百万円（前年同期は当期純損失4,021百万円）を見込んでおります。

■ 地域別セグメント情報（連結）

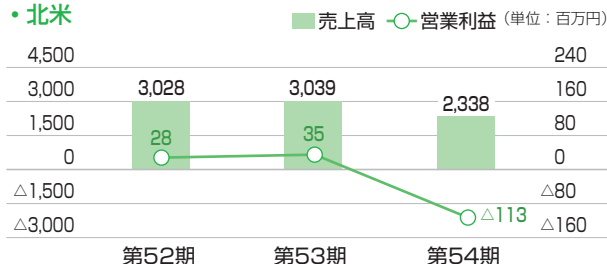
・日本



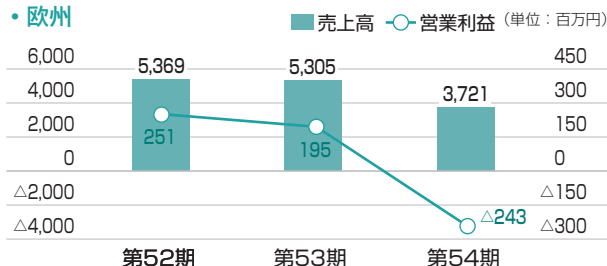
・アジア



・北米



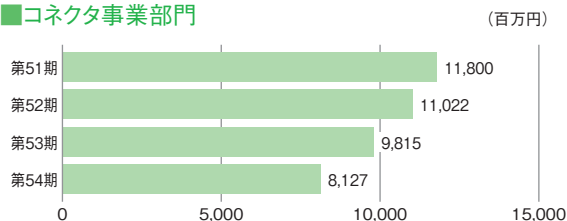
・欧州



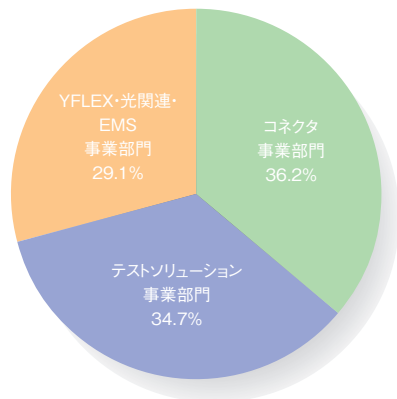
■ コネクタ事業部門

携帯電話やパソコンおよびデジタルAV機器の生産台数は、秋口以降の世界的な景気減速の影響により最終需要が急激に悪化した結果、主力のカードコネクタや高速伝送用コネクタ製品の販売が振るわず低調な推移となりました。また、新製品の太陽電池モジュール用コネクタ関連製品については、欧州や北米の安全規格認証取得の遅れにより、第4四半期後半からの販売となりました。その結果、売上高は8,127百万円（前年同期比17.2%減）となりました。

■ コネクタ事業部門



■ 部門別売上



● コネクタ事業

- ・各種メモリカード用コネクタ
- ・産機・民生用コネクタ
- ・産機・民生用ICソケット

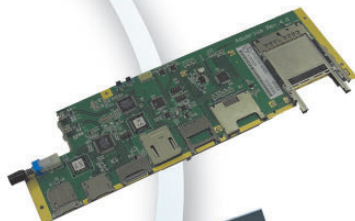
● 光関連事業

- ・カラーフィルタ
- ・光通信フィルタおよびデバイス



●テストソリューション事業

- ・テスト用ICソケット
- ・バーンイン用ICソケット
- ・その他半導体・FPD関連装置部品



●EMS事業

- ・半導体組立技術
- ・液晶パネル組立技術
- ・各種電子機器設計・組立

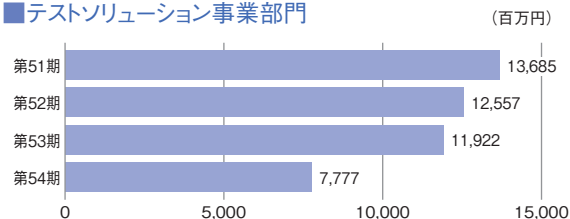
●YFLEX事業

- ・高速伝送用ケーブル
- ・フレキシブルプリント配線基板

■テストソリューション事業部門

平成19年度から続く半導体設備投資の抑制傾向は、第3四半期以降の急激な景気減速により国内外の半導体メーカーの生産調整と設備投資の凍結や延伸などが相次ぎ、主力の半導体検査用テストソケットやバーンインテストソケット製品の需要は過去にない低迷となりました。特に秋口まで健闘してきた車載向け半導体検査用バーンインソケット製品の販売は第4四半期以降大幅な落ち込みとなりました。その結果、売上高は7,777百万円（前年同期比34.8%減）となりました。

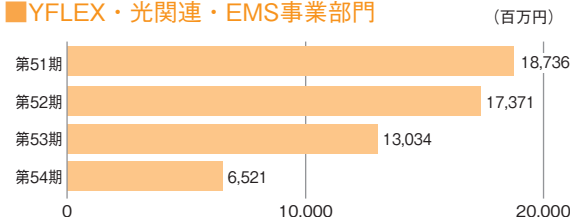
■テストソリューション事業部門



■YFLEX・光関連・EMS事業部門

YFLEX事業では、アミューズメント市場向け高速伝送用ケーブル製品の販売は比較的堅調に推移しましたが、第3四半期以降の薄型TV向け販売が生産調整や売価ダウンの影響により伸び悩む結果となりました。EMS事業においては、基板実装事業での部材の自社購買から無償支給への切替により大幅な減収となり、液晶組立事業も秋口以降の液晶パネル需要の急激な落ち込みから減収となりました。また、平成19年度末の装置事業の譲渡による減収分も加わり、YFLEX・光関連・EMS事業部門の売上高は6,521百万円（前年同期比50.0%減）となりました。

■YFLEX・光関連・EMS事業部門



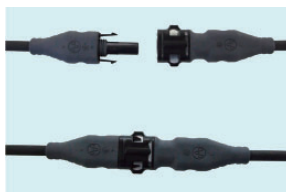
太陽電池向け接続ユニット

いよいよ2009年度より、本格量産出荷開始。

世界トップ5社のうち2社に製品出荷を開始。今後、当社事業の柱のひとつに育てます。



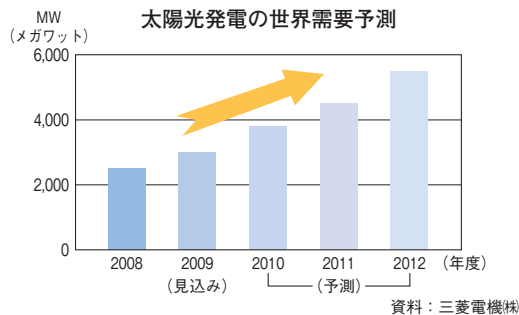
業界最薄レベルJ-Box 実装高さ12mm



業界最薄レベルロックタイプPV コネクタ YSOL-4

ケーブルとコネクタをセットで供給することができるトータルソリューションを提供致します。

※J-Box=ジャンクションボックス

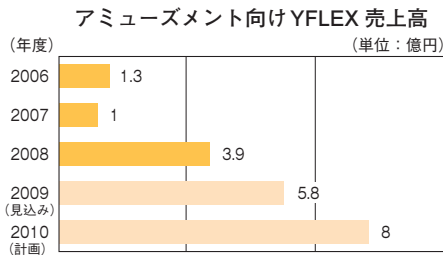


YFLEX アミューズメント機器での採用好調

2007年度以降、アミューズメント機器へのYFLEXの販売を着々と増やしております。



高速伝送ケーブル

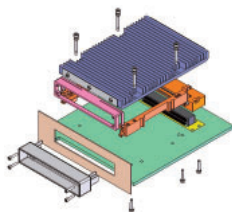


2009年度下期には、YFLEX事業の営業利益の黒字化を計画しています。

※YFLEX=基板材料に液晶ポリマーを使用した当社製品、フレキシブルプリント配線基板

高速伝送用コネクタ

当社は通信ならびにデータセンター市場向けのルーターに、使用される100Gbpsイーサネット光トランシーバ／レシーバ用コネクタおよびメカパーツを開発しました。



イーサネット光トランシーバ／レシーバ用コネクタ・メカパーツ



高速伝送コネクタ HF601シリーズ

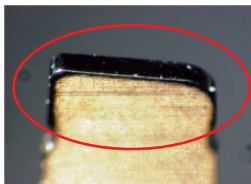
米国の規格委員会に参画・提案し、正式ベンダーとして認定を受けました。
ターゲット市場：通信インフラ機器

当社のYFLEXと組み合わせて高速伝送性能を提供。
ターゲット市場：民生機器

高寿命化技術

半導体テスト用接触子を画期的に高寿命化するコーティング技術を内製化取込みいたしました。

半導体・LCD検査用ソケットで、従来から接触技術の課題とされてきた「電氣的寿命」の向上において、従来比で性能を大幅に向上させるCSH™コーティング技術を取得し、製造および販売を開始しました。



QFP用コンタクト

CSHコーティングを施した接触子先端部分



BGA用コンタクト

半導体メーカーのテスト技術者にとって悩みの種である、テスト用接触子の高寿命化により、当社のサービスの範囲を拡大していきます。

連結財務諸表（要約）

■連結貸借対照表

【資産の部】

科 目	当期 (平成21年3月31日現在)	前期 (平成20年3月31日現在)
流動資産	15,914	19,468
現金及び預金	5,999	5,137
受取手形及び売掛金	6,455	9,227
たな卸資産	2,629	4,091
その他	830	1,011
固定資産	14,645	18,348
有形固定資産	11,456	12,897
無形固定資産	307	409
投資その他の資産	2,881	5,040
資産合計	30,560	37,816

【負債、純資産の部】

(単位：百万円)

科 目	当期 (平成21年3月31日現在)	前期 (平成20年3月31日現在)
流動負債	12,057	12,454
支払手形及び買掛金	3,163	4,936
短期借入金	5,742	5,064
その他	3,151	2,453
固定負債	868	1,613
長期借入金	484	749
その他	383	863
負債合計	12,925	14,068
株主資本	18,684	23,616
資本金	10,013	10,013
資本剰余金	10,971	10,971
利益剰余金	△ 19	4,912
自己株式	△ 2,281	△ 2,281
評価・換算差額等	△ 1,075	104
少数株主持分	25	26
純資産合計	17,634	23,747
負債純資産合計	30,560	37,816

■連結損益計算書

(単位：百万円)

科 目	当期 (自 平成20年4月1日 至 平成21年3月31日)	前期 (自 平成19年4月1日 至 平成20年3月31日)
売上高	22,426	34,772
売上原価	18,337	26,943
売上総利益	4,088	7,829
販売費及び一般管理費	6,979	8,277
営業利益	△ 2,891	△ 448
営業外収益	240	325
営業外費用	342	883
経常利益	△ 2,994	△ 1,006
特別利益	118	15
特別損失	1,662	1,424
税金等調整前当期純利益	△ 4,538	△ 2,415
法人税、住民税及び事業税	72	430
過年度法人税等	5	57
法人税等調整額	105	450
少数株主利益	△ 0	△ 0
当期純利益	△ 4,721	△ 3,353

■連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科 目	当期 (自 平成20年4月1日 至 平成21年3月31日)	前期 (自 平成19年4月1日 至 平成20年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	968	5,047
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,284	△ 3,549
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,343	△ 1,238
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 164	△ 387
現金及び現金同等物の期首残高	5,131	5,186
新規連結子会社の現金及び現金同等物の期首残高	—	73
現金及び現金同等物の期末残高	5,993	5,131

■連結株主資本等変動計算書 当期 (自 平成20年4月1日 至 平成21年3月31日)

(単位：百万円)

	株主資本					評価・換算 差額等	少数株主 持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計			
平成20年3月31日残高	10,013	10,971	4,912	△ 2,281	23,616	104	26	23,747
在外子会社の会計処理の変更に伴う増減	—	—	5	—	5	—	—	5
連結会計年度中の変動額								
剰余金の配当			△ 56		△ 56			△ 56
当期純利益			△ 4,721		△ 4,721			△ 4,721
持分法の適用範囲の変動			△ 160		△ 160			△ 160
自己株式の取得				△ 0	△ 0			△ 0
株主資本以外の項目の連結 会計年度中の変動額 (純額)						△ 1,179	△ 0	△ 1,180
連結会計年度中の変動額合計	—	—	△ 4,938	△ 0	△ 4,938	△ 1,179	△ 0	△ 6,118
平成21年3月31日残高	10,013	10,971	△ 19	△ 2,281	18,684	△ 1,075	25	17,634

単体財務諸表（要約）

貸借対照表

（単位：百万円）

科 目	当期 (平成21年3月31日現在)	前期 (平成20年3月31日現在)
【資産の部】		
流動資産	9,575	11,173
現金及び預金	2,750	1,672
受取手形及び売掛金	3,100	4,585
たな卸資産	1,031	1,448
その他	2,693	3,467
固定資産	15,319	17,838
有形固定資産	8,920	9,908
無形固定資産	166	229
投資その他の資産	6,232	7,701
資産合計	24,895	29,012
【負債の部】		
流動負債	8,403	7,300
支払手形及び買掛金	626	1,169
短期借入金	5,562	5,012
その他	2,214	1,119
固定負債	697	1,343
長期借入金	480	742
その他	217	601
負債合計	9,101	8,643
【純資産の部】		
株主資本	15,705	19,783
資本金	10,013	10,013
資本剰余金	10,971	10,971
利益剰余金	△ 2,998	1,079
自己株式	△ 2,281	△ 2,281
評価・換算差額等	89	585
純資産合計	15,794	20,369
負債純資産合計	24,895	29,012

損益計算書

（単位：百万円）

科 目	当期 (自 平成20年4月 1 日 至 平成21年3月31日)	前期 (自 平成19年4月 1 日 至 平成20年3月31日)
売上高	12,397	16,551
売上原価	11,393	13,297
売上総利益	1,003	3,253
販売費及び一般管理費	3,470	3,888
営業利益	△ 2,467	△ 634
営業外収益	578	348
営業外費用	527	556
経常利益	△ 2,416	△ 843
特別利益	125	43
特別損失	1,414	3,832
税引前当期純利益	△ 3,705	△ 4,631
法人税、住民税及び事業税	31	36
過年度法人税等	5	57
法人税等調整額	279	328
当期純利益	△ 4,021	△ 5,052

会社の概要



会社の概要 (平成21年3月31日現在)

商 号 山一電機株式会社
 所 在 地 東京都大田区中馬込三丁目28番7号
 設 立 昭和31年11月
 資 本 金 100億1,363万円
 従 業 員 数 557名 (連結 3,068名)
 主な事業内容 1. コネクタ事業
 2. テストソリューション事業
 3. YFLEX事業
 4. 光関連事業
 5. EMS事業
 6. PVソリューション事業

役員 (平成21年6月25日現在)

代表取締役社長 織 田 俊 司 常勤監査役 瀬 野 四 郎
 取締役 鶴 家 紀 之 監 査 役 吉 澤 壽 美 雄
 取締役 小 鯖 晃 監 査 役 多 田 郁 夫
 取締役 渡 部 武 光
 取締役 加 藤 勝 市
 取締役 村 田 和 則
 取締役 阿 部 俊 司

グローバルネットワーク

ヨーロッパ

- ① ヤマイチエレクトロニクス ドイツェランドGmbH (技 販)
- ② ヤマイチエレクトロニクス ドイツェランドマニュファクチャリングGmbH (生)
- ③ ヤマイチエレクトロニクス グレートブリテンLtd. (販)
- ④ ヤマイチエレクトロニクス イタリアs.r.l. (販)
- ⑤ ヤマイチエレクトロニクス チュニジアS.A.R.L. (技)

アジア

- ⑥ ヤマイチエレクトロニクス シンガポールPTE LTD (販)
- ⑦ 台湾山一電子股份有限公司 (販)
- ⑧ 山一電機(香港)有限公司 (販)
- ⑨ 上海事務所 (販)
- ⑩ 山一電子(深圳)有限公司 (技 生)
- ⑪ 亞洲山一電機工業株式会社 (生 販)
- ⑫ プライコンマイクロエレクトロニクス INC. (生)
- ⑬ テストソリューションサービスINC. (生)

アメリカ

- ⑭ ヤマイチエレクトロニクス U.S.A., INC. (技 販)

日本

- ⑮ 山一電機株式会社 (技 販)
- ⑯ 佐倉事業所 (生)
- ⑰ 佐倉事業所 諏訪分室 (生)
- ⑱ 大阪営業所 (販)
- ⑲ 熊本営業所 (販)
- ⑳ 大分営業所 (販)
- ㉑ マティ株式会社 (生)
- ㉒ 大分事業所 (生)
- ㉓ 株式会社ハイエンブラ (生)
- ㉔ 光伸光学工業株式会社 (生 販)

技 技術開発拠点
 生 生産拠点
 販 販売拠点

株式の状況 (平成21年3月31日現在)

- ① 発行可能株式総数 60,000,000株
- ② 発行済株式総数 20,537,875株
- ③ 株主数 6,264名
- ④ 単元株式数 100株
- ⑤ 大株主

株 主 名	当社への出資状況	
	持株数	出資比率
	株	%
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社	992,700	5.2
S M K 株 式 会 社	939,200	4.9
有 限 会 社 ワ イ プ ロ ス パ ー	841,500	4.4
株 式 会 社 三 井 住 友 銀 行	619,300	3.3
株 式 会 社 三 菱 東 京 U F J 銀 行	531,300	2.8
日 本 生 命 保 険 相 互 会 社	526,275	2.8
株 式 会 社 み す ほ 銀 行	522,500	2.8
山 中 一 孝	499,000	2.6
山 一 電 機 従 業 員 持 株 会	463,688	2.4
日本マスタートラスト信託銀行株式会社	415,400	2.2

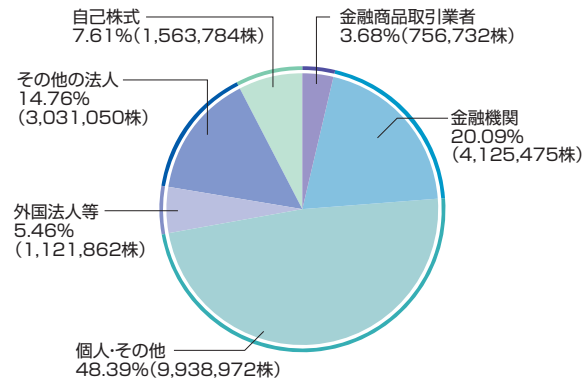
(注) 1. 当社は自己株式1,563,784株を所有しておりますが、上記持株数上位10名からは除外しております。

2. 出資比率は自己株式1,563,784株を控除して計算しております。

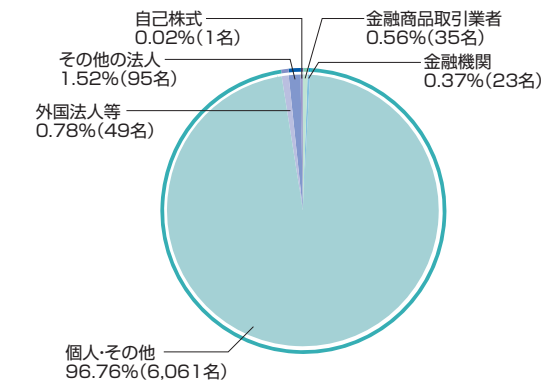
3. 上記信託銀行の所有株式数のうち、信託業務に係る株式数は以下のとおりであります。

日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社	992,700株
日本マスタートラスト信託銀行株式会社	415,400株

所有者別株式数分布状況



所有者別株主数分布状況



株主メモ

事業年度	4月1日～翌年3月31日
期末配当金受領株主確定日	3月31日
中間配当金受領株主確定日	9月30日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 Tel. 0120-232-711 (通話料無料)
同連絡先	
上場証券取引所	東京証券取引所
公告の方法	電子公告により行う (ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載いたします。)

【お知らせ】

株券電子化によるご注意

- (1) 株券電子化に伴い、株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- (2) 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
- (3) 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

IRサイトのご案内

当社では、Web上で「投資家情報」として次のような情報を公開しています。今後も、株主の皆様への情報開示の内容を充実し、迅速に開示を行っていく所存です。

Web上で
ご覧いただける
投資家情報

- ・IRカレンダー
- ・決算短信
- ・株主のみなさまへ
- ・有価証券報告書
- ・お問い合わせ
<http://www.yamaichi.co.jp/aboutus/ir/ir.shtml>

 山一電機株式会社

〒143-8515 東京都大田区中馬込三丁目28番7号
☎03-3778-6111 (代表) ☎03-3778-6171
ホームページアドレス <http://www.yamaichi.co.jp>

